

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	西脇市立比延小学校	研究チーム名 (日韓・日朝歴史認識研究会)
	主幹教諭 遠藤 行博	

研究テーマ分類番号 (1 4)

(1)研究テーマ
日本と韓国・朝鮮が、今後もよりよいパートナーであるために、必要な歴史教育のあり方を追究する。
(2)研究経過及び具体的な取組
7月 4日 研究テーマと各自の課題を話し合う ・場所：神戸市中央区 ・内容：倭国と渡来人、壬辰倭乱、韓国併合などについて取り組むことを確認。 7月11日 8月の韓国での研修会の事前学習会 ・場所：大阪市北区 ・内容：韓国独立記念館研究員と、8月の研修内容の打ち合わせと事前学習 8月16・17日 韓国での現地研修会 ・場所：韓国・清州市、水原市 ・内容：①朝鮮山城の見学 ②独島領有権の主張について 10月 6日 竹島（独島）領土問題についての学習会 ・場所：西脇市・多西教育会館 ・内容：日韓両国の領有権主張を比較検討する 10月26日 壬辰倭乱についての学習会に参加 ・場所：徳島市・徳島県立博物館 ・内容：壬辰倭乱と西国大名、日本にきた朝鮮人 11月11日 竹島問題学習会に参加 ・場所：神戸市長田区 ・内容：兵庫津の朝鮮通信使研究会例会で、詳細な年表で竹島領有を考察する。 11月21日 古代の倭国について学習会 ・場所：多西教育会館 ・内容：倭国と伽耶国との関係についての問題提起と研究討議 【成果と課題】 当初の計画後、李明博大統領の竹島（独島）上陸があり、急遽領有問題にも取り組むことにした。韓国の主張を知り、日本国内の報道だけでは分からない争点を知る良い機会となった。